

題名も歌詞も
なんて。なんてするいの

星座になれたらって



文化祭ライブ二曲目『星座になれたら』
私たちことを歌った曲



私に宛てた歌詞

校舎から出て、
空を見上げる
一番星が輝いている

ギ
ン

手を伸ばして掴もうとしても、
掴むことは出来ない

感傷的な想いは
目から頬をつたう

いつになったら、
貴女のことを掴むことが出来るの。
こうして一緒に居られるのはいつまで



ぜい、ぜい…
待って下さい

振り返ると後藤さんが、
物凄い勢いで走ってくる。
感傷的な気持ちに吹き飛ばされる程の走り。



喜多さん！
待って！



慌てなくてもいいよ
息を整えてね

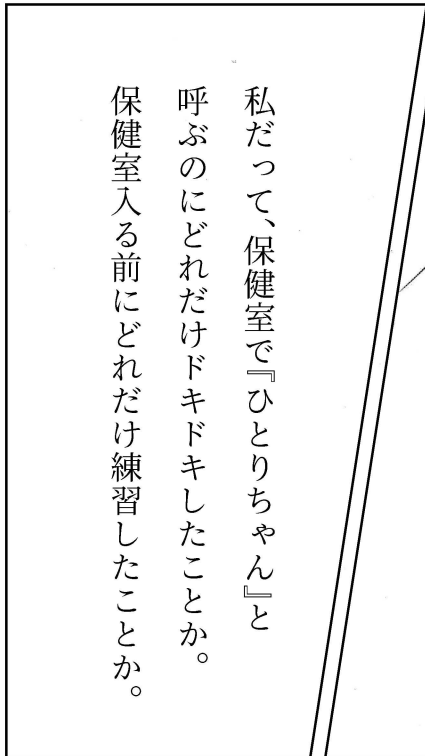




い、く…よちゃん!



大きく息を吸って、呼吸を整えている。
何度か口パクで、
何かを言う練習をする後藤さん。



私だって、保健室で『ひとりちゃん』と
呼ぶのにどれだけドキドキしたことか。
保健室入る前にどれだけ練習したことか。



ひとりちゃん。
もう一回言ってくれない？